

Family



小野市立河合中学校 小野市三和町 983-2

学校評価と分析について

小野市立河合中学校長 吉岡 秀晃

令和7年度も残すところ、後わずかとなってまいりました。保護者の皆様におかれましては、この一年間、本校教育に多大なご協力・ご支援をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、保護者ならびに児童生徒を対象に過日実施いたしました、本校教育活動に関するアンケートの分析結果と今年度の総括、および今後の方向性について、下記のようにご報告させていただきます。

アンケート結果の見方について

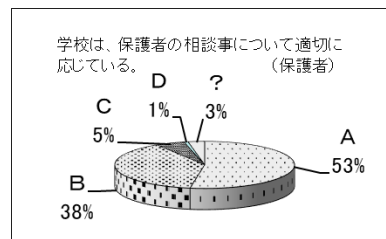
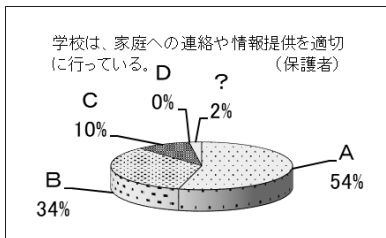
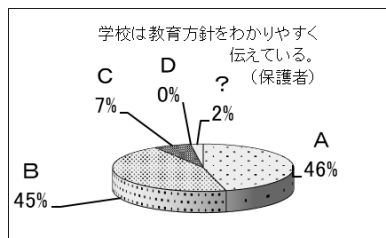
アンケートは 6～9 年生の保護者と児童生徒を対象とし、各質問内容について、「A=そう思う」、「B=ややそう思う」、「C=あまりそう思わない」、「D=そう思わない」、「?=判断できない」の選択方式で実施しました。分析は「A・B」を肯定的な評価と捉え、類似する質問ごとに総括したうえで主だった内容について取りまとめています。

1 家庭・地域への情報提供と連携

学校の教育方針やお子様の様子、行事予定は、主に毎月発行している学校だより「Family」でお伝えしています。また、各学年からは学年内の様子や連絡事項について学年だよりでお伝えしています。これら学校からの情報発信に加えて、保護者・地域の方々には年3回のオープンスクールで参観いただくことで、本校教育活動への理解を深めていただいています。また、保護者の方のご協力により各種の学校行事を円滑かつ効果的に進めることができ、深く感謝いたしております。

加えて、今年度は5月の小中合同体育祭の1週間前に、河合地域づくり協議会のご協力も得ながら「PTCA 奉仕作業」を行い、グラウンドおよび校地の除草作業を行いました。保護者ならびに地域の方の力を得ることで良い環境の中で体育祭を実施することができました。ありがとうございました。

今後も、丁寧な情報発信に取り組んでいきます。保護者の方には今後とも教育活動へのご支援をお願いしますとともに、ご相談・ご意見などがありましたら学校へお知らせいただきますようお願いいたします。



2 学校生活の充実度

学校生活の基盤である「たのしくわかりやすい授業(児童・生徒)」の項目では肯定的な評価が昨年度に比べ、10%増えており、教員と生徒が「主体=主体」の関係をもとに意欲的に授業に取り組んでいることが分かります。

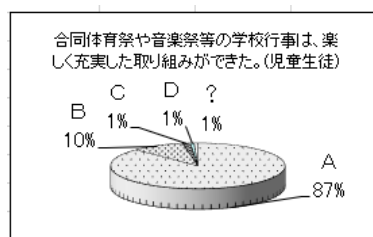
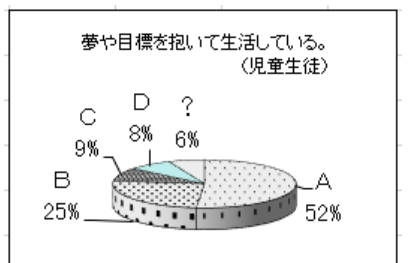
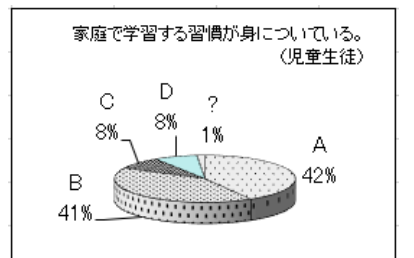
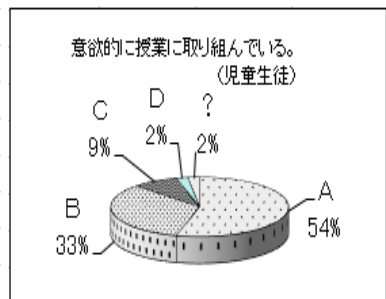
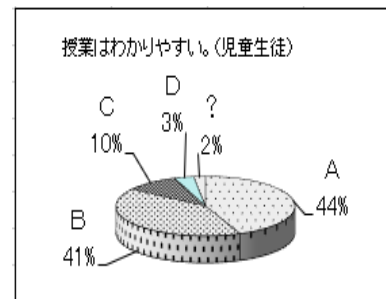
しかし、「家庭での学習習慣(児童・生徒)」の項目では、前年度比で6%微減するなど、家庭学習への取り組みには課題が見られました。次年度は、学校での学習を家庭での学習につなげ、「予習(家庭学習)-授業(学校での学習)-復習(家庭での学習)」のサイクルを児童・生徒一人一人が確立できるように各教員が働きかけ、「確かな学力の定着」に励んでいきたいと考えております。

また、目の前の定期考査や学習成績のみにフォーカスするのではなく、将来の夢や目標の実現といった中長期的なビジョンに立って、生徒一人一人キャリア形成が行えるよう、教科指導だけではなく、キャリア教育の充実化にも注力していきたく思います。そして、河合小中学校を通過点として児童・生徒が自らの希望する未来を切り拓いていけるように教職員が一丸となってサポートしていきますので、今後も本校の教育活動へのご理解とご協力の程、宜しくお願い致します。

今年度の児童生徒会スローガンは、「キセキ～今しかない瞬間を最高の仲間と共に～」でした。スローガンのように児童生徒みんなで楽しく毎日の学校生活や行事を創り上げていこうとする姿がたくさん見られました。グラフの結果からも読み取れるように、児童生徒の皆さんにとって学校行事がとても充実したものであり、成長に繋がるものであったと思います。

小中合同体育祭では、高学年が低学年への関わり方を色々と工夫したり、練習の際には優しくかわったりする姿がありました。また児童生徒会を中心に体育祭スローガンを考案し、赤白関係なく楽しそうに盛り上がっていた姿が印象的でした。

かわいい音楽祭では、各クラスでパート練習を行い、体育祭で磨かれたクラスの絆を更に良いものにしていこうとし、クラスや一人一人の成長に繋がりました。今後も児童生徒一人一人の成長に繋がり、行事が終わった時に充実感を得て、更なる高みを目指していこうとする学校行事の取り組みを考えていきたいと思っております。

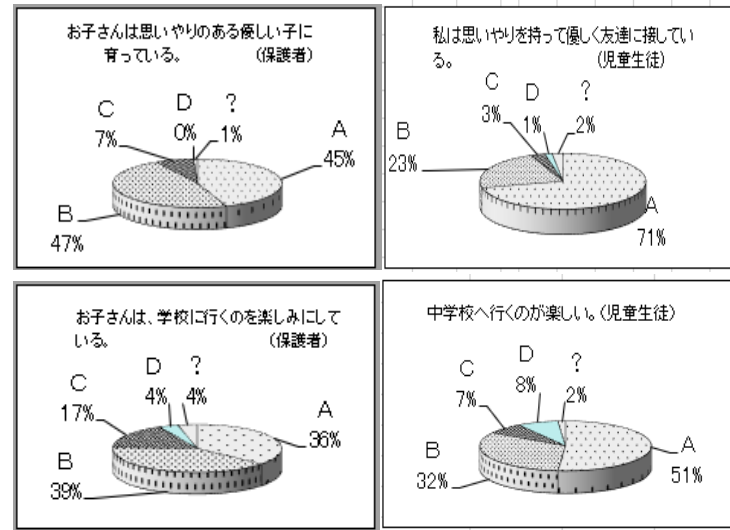


3 家族との関わり・家庭生活

家庭のご指導とご協力のおかげで、今の児童生徒達の学校生活があると実感しています。いつもありがとうございます。これからも、家庭と学校でベクトルを合わせて子ども達の成長を支援できればと思います。

アンケート結果から、友達に会えることを楽しみにして学校生活を送る児童生徒が多くいる反面、そうでない児童生徒にどう寄り添っていくのが課題です。また、思いやりのある優しい児童生徒が本校にはたくさんいることを、児童生徒に限らず保護者にも実感していただいています。これからも、悩みやストレスにより学校生活に不安を抱えている児童生徒が相談しやすい環境づくりを心掛けるとともに、教職員全体で児童生徒のSOSを敏感に察知し、明るく元気に学校生活が送れるように努めていきたいと考えております。

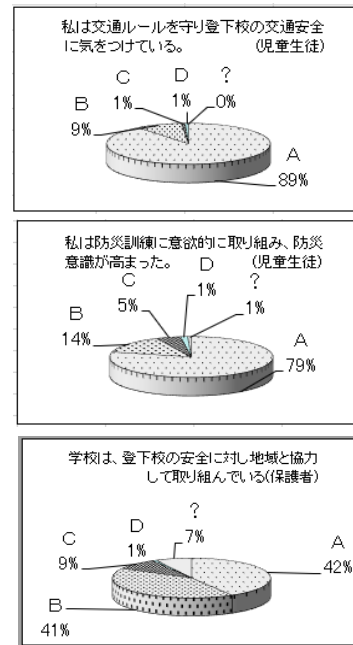
ご家庭でお子様と話す中で、気になることがございましたら、いつでも学校にご連絡ください。



4 安全な登下校、防災訓練・防災意識の高揚

『交通ルールの遵守、安全な登下校(児童生徒)』の項目では、昨年同様、高い安全意識を持って登下校しているように感じています。年度当初に自転車訓練や上級生との登下校が安全意識の定着につながっているように思います。しかし、並列走行や自転車の危険運転に関して指導を行うこともあり、全員が守れている訳でなく、またいつ事故に巻き込まれるか分からない状況であることも継続して伝えていきたいと思っております。歩行者も運転者も互いに気を付ける交通意識を高めていきたいです。ご家庭でも登下校時のマナーとルールについてお話いただきますようお願いいたします。

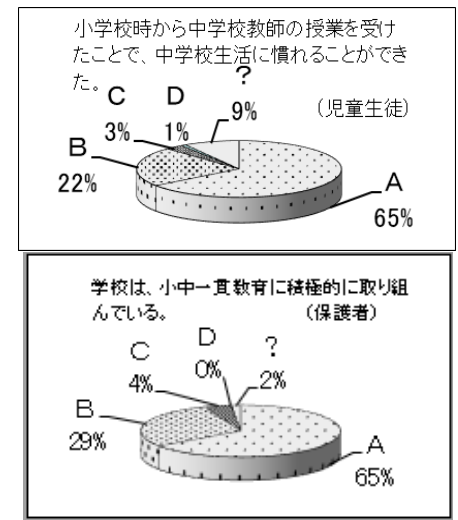
「防災訓練・防災意識」については、児童生徒たちの防災意識も交通意識同様、高い意識を持って生活しています。1学期は火災を想定した避難、2学期は不審者を想定した避難、3学期には阪神・淡路大震災の追悼集会を行いました。追悼集会では小野市消防本部・救命課の皆さんにご協力いただき一次救命にあたる胸骨圧迫実習を行いました。今回の実習を通して命を助ける大変さを児童生徒たちは身をもって実感することができました。教員もAED・心肺蘇生法訓練を行い、対応力の向上に努めています。これからも様々なことを想定した訓練を行い、継続して対応力の向上に取り組んでいきます。



5 小中一貫教育の推進

児童生徒のアンケートから、『小学校から中学校教師の授業を受けることで、中学校生活に慣れることができた』の項目について肯定的な評価が94%と、前年度よりも向上しています。子ども達自身が小中一貫教育の中で充実した生活を過ごしていることがうかがえます。また、94%の保護者の方より、『学校は、小中一貫教育に積極的に取り組んでいる』との肯定的な評価をいただいています。

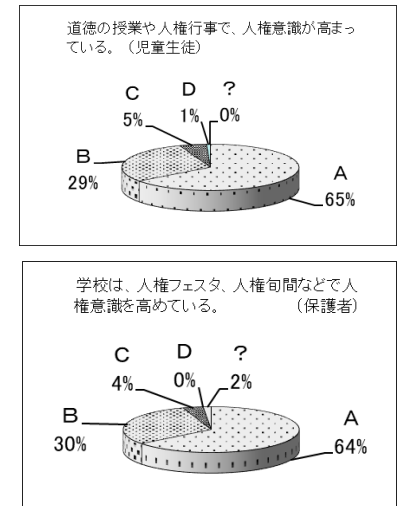
5・4制による小中一貫教育を始めて今年で11年目を終えようとしています。10年目という節目を過ぎ、教職員も再スタートと位置づけて、この一年間、小中一貫教育の推進に取り組んできました。今年度、変えたこと、変えていないこと、どちらもありますが、今回の学校評価により、小中一貫教育の方向性に間違いはなかったと振り返ることができました。今後も小中が一体となって教育活動に取り組み、河合小中でしかできない小中一貫教育を目指してまいります。



6 人権・心の教育

『道徳の授業や人権行事で人権意識が高まっている(児童生徒)』の項目では、94%の児童・生徒が肯定的評価を返しており、日々の取組が児童・生徒の人権意識高揚につながっていると感じます。また、『人権フェスタ、人権旬間などで人権意識を高めている。(保護者)』の項目における高評価からも、本校教育活動を好意的に受け止め支えてくださっている様子が伝わって参りました。加えて、「人権フェスタでの発表を通して、多種多様な人権課題についてより深く考えるいい機会になった」というご意見を多数いただきました。

今後も日々の学校生活を通して、さらなる人権意識・人権感覚の向上に努めていきたいと考えております。



7 総括

学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。ご回答いただいた項目それぞれについて、児童生徒向けアンケートの結果も踏まえ学校内、学校運営協議会で上記のように総括・分析いたしました。5・4制小中一貫を柱とする本校の教育活動も実施以来11年となり、児童生徒の落ち着いた学びの姿や主体的な生活として実を結んでいます。これもひとえに、家庭や地域の方々を支えられているためであると、アンケート結果より改めて感じる事ができました。ただ、今後さらに検証、課題解決をしていかなければならない項目もあります。ご指摘いただいた点についても、教育活動の充実に向けて生かしていきたいと存じます。これからも、皆様のご期待に添えますよう努力してまいります。今後とも本校教育に一層のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。